

## 2021 年度 第 3 回企画環境委員会 議事録

日 時 2021 年 8 月 23 日(月) 15:00 ~ 17:00

会 場 WEB 会議(ZOOM)

出席者 20 名(欠席:辻森委員)

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
東 京	松本 一成	南関東	○ 清田 顕彦	東中国	清水 浩史郎
北海道	広川 太一	東 京	西條 剛	西中国	宮下 香津恵
北東北	後藤 芳晴	東 海	生川 恭道	四 国	○ 開出 昭
南東北	福村 浩幸	北 陸	林 忠宣	九州北	辻森 陽介
上信越	神林 英樹	近 畿	安井 義幸	九州南	安座間 安由
東関東	小坂橋 聡	阪 神	山口 善克		

<担当副会長> 小田島 綾子

<事務局> 常務理事:小見 隆彦、特命部長:金澤 亨、特命部長:大谷 隆(記)

:委員長、○副委員長

<委員会での決定事項>

- ・「事業継続力強化計画認定制度」「社労士診断認証制度」セミナーの集約および開催後のフォローを行い、次回委員会で確認する。

### 議 事

#### ・挨拶

##### 1. 松本委員長挨拶

- ・本日も忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。自然災害やコロナで大変な時期ではあるが、皆さん体調に十分留意いただきたい。
- ・本日は時間が少ないのでチャネル間競争力に絞って討議していきたい。8月31日の事業継続力強化認定セミナーの参加者は現時点で295名の申込みがあるがまだ一週間あるのでもう少し集客したい。
- ・9月21日の社労士診断認証制度セミナーの案内を本日全役員、都道府県代協事務局に案内しているのでフォローお願いしたい。事業継続力強化計画と違って内容が分からないという人がまだまだ多いので、皆さんに社労士診断認証制度を知ってもらう機会にもなるので積極的に集客して欲しい。
- ・リスクマネジメント講座については、年内スタートを計画しており色んなことが重なって皆さんには負担をかけることが多いと思うが、取組みをお願いしたい。

##### 2. 司会進行・議事録作成者の氏名

司会進行に清田副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

#### ・報告事項・情報共有事項

##### 1. 第3回 理事会報告

事務局より、配布した第3回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・審議事項は、表彰者選考会議構成員の委嘱、第10回日本代協コンベンションの開催、事業計画推進に関する審議、令和4年度税制改正に関する要望、日本代協アドバイザー制度規則の改定、リスク

マネジメント講座検討 PT の設定の 6 項目につき審議されそれぞれ承認された。

- ・コンベンションは 7 月 9 日の理事会では式典、分科会、パネルディスカッションを 3 週に分けて開催し式典はハイブリッド開催の承認を得たが、その後のコロナ感染拡大により再検討を行い 9 月の理事会で再審議となった。
- ・事業計画推進についての広報 PR 企画は(株)毎栄の企画案を採用し、制作に入る。これまでのように各都道府県代協の動画は作成しない。
- ・幹事講評において白石幹事より、法人のお客さまには費用対効果の高いバランスの取れた保険ポートフォリオを提供構築していくことは有益な試みであり、リスクマネジメント講座の立ち上げによりリスクマネジメントの普及につながることを祈念している、との講評があった。
- ・事業計画進捗状況について、地域担当理事・各委員会委員長より報告があった。

## 2. 2021 年度第 1 回 活力研報告

事務局より、事前に配布した活力研議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・保険募集現場で代理店が、納得感がないと感じる諸問題への対応策を「代理店から寄せられる保険募集現場の問題点の確認」「コミュニケーションギャップが生じる根本的背景は何か」「課題の自立的解決に向けて、業界と代協がどう連携して取り組むか」の 3 つのテーマで論議した。
- ・事務局より、活力研に参加した保険会社部長に、ここだけでの論議に終わらずに社内論議して改善した課題あるいは、違うと判断して対応しなかった課題については情報提供を随時していただき、問題点の整理もできる限り開示して欲しいと要望した。

## 3. 前回委員会振り返り

松本委員長より、配布した第 2 回企画環境委員会議事録の内容に沿って振り返りが行われた。

## ・審議事項

### 1. チャネル競争力強化策(事業継続力強化計画認定制度)について

清田副委員長より、

- ・本取組みを推進するにあたり企画環境委員会および中小企業庁のアンケート結果から大多数が必要性を認識しているとの回答があったことから推進をしている。
- ・今まで企画環境委員会では数字を追いかける取組みは行っていなかったが、今回は認定会員 20% (約 2,000 社) を目標として、さらに認定会員がそれぞれ 1 社を支援していく目標を設定している。また、三冠王の独自取組み項目である BCP の作成についても 30%(約 3,000 社) を目標としていることを認識頂きたい。
- ・取り組み方針は、8 月 31 日に事業継続力強化計画セミナーを日本代協理事、各代協役員、全国の企画環境委員を対象に開催、9 月末までに全国の会員向けにセミナー申込みを受付、視聴 URL を配信していく予定。セミナー申込み時アンケートにて事業継続力・BCP の取組み状況を把握していく。また、10 月以降は YouTube に「ニーズ喚起」「ポイント説明」「申請手続き」の 3 本の動画をアップしていく。
- ・CSR 委員会が推進している BCP セミナー開催時にアンケートを実施し連携していく。
- ・三冠王の取り組み項目になっているので事業継続力認定会員は、アンケートと申告で途中経過を把握し、最終確認は各代協でアンケートを取っていただきブロック毎に企画環境委員が中企庁 HP で検索し確認する。BCP 作成会員もアンケートと申告で途中経過を把握し、最終確認は各代協でアンケートをとっていただき申告ベースで把握する。
- ・日本代協として、事業継続力強化計画認定と BCP 作成は同時に推進していこうというスタンスなので CSR 委員会が推進している BCP セミナーでのアンケート実施により事業継続力取得予定会員、BCP 作成予定会員を把握して、配信済の「申請支援マニュアル」「事業継続力強化計画申請書書き方ガイド」等を活用してフォローしていくことが課題だと考える。

(松本委員長より補足)

- ・本日も中小企業庁とやり取りをして 8 月 31 日のセミナーレジュメが送られてきたが非常に充実した内容のものであり中身の濃いセミナーになると思うので動員お願いしたい。

## 2. チャネル競争力強化策(社労士診断認証制度)について

開出副委員長より

- ・企画環境委員としてやるのが盛りだくさんの中で、社労士診断認証制度の取組みをお願いしたい。
- ・推進の根拠は、保険代理店として、適切な人事労務管理、優秀な人材の採用・育成、継続雇用に必要であり、会員の顧客には、人事労務リスクの意識付けを行い保険提案に繋げる。また、社会的には働き方改革やハラスメントなどの人事労務リスクが高まっている背景がある。
- ・職場環境改善宣言企業は会員の30%(約3,000社)、経営労務診断実施企業は会員の10%(約1,000社)、経営労務診断適合企業は会員の5%(約500社)を目標としたい。
- ・取組み方針は、9月21日に社労士診断認証制度オンラインセミナーを日本代協理事、各代協役員、全国の企画環境委員を対象に開催(本日案内を配信)、10月末までに全国の会員向けにセミナー申込みを受付、視聴URLを配信していく予定。セミナー申込み時アンケートにて社労士診断認証の取組み状況を把握していく。また、11月以降はYouTubeに「ニーズ喚起」「ポイント説明」「申請手続き」の3本の動画をアップしていく。
- ・目標値の確認は、アンケートと申告で途中経過を把握し最終、各代協でアンケートを取っていただきブロック毎に企画環境委員が中企庁HPで検索し確認する。
- ・岡山県代協では、事務局が認証を取得して会員へのフォローを行っている。
- ・まずは、宣言企業を増やし実施企業・適合企業へランクアップさせていく前提で取組んでいく。

(松本委員長より補足)

- ・本日セミナー案内を配信しているが既に29社の申し込みがあった。うち宣言企業が27%、取得予定が37%となっているが、真っ先に回答してくれる会員は意識が高いと思うので申込件数が増えてくると全体像が見えてくると思う。また、内容が分からないという回答が半数以上あり、まだまだ認知度が低いと感じているのでどんどん情報発信していきたい。
- ・費用負担は地域や担当社労士によって全く違ってくるが、参考までに東京の社労士法人の費用を紹介する(画面共有にて紹介)。各代協で社労士と提携が始まれば一定の目安が出来てくると思う。

(主な意見・質問)

- ・東海ブロックでは、各会議体で社労士診断認証の話題が出ているが、一人で経営している会社とか家族経営の会社も対象になるのかという質問が出ている。

基本的には社会保険の適用に関係なく従業員が一人でもいれば対象になる。しかし、本当に一人だけの会社は採用していないので本制度とは関係なく、家族だけの経営で今後他人を採用しないというのであれば、あまり関係ないと思う。

(小見常務より)

- ・組織委員会で会員の実態アンケートを5年に一回実施していて今年度実施する予定となっている。現在組織委員会のPTで作りこんでいて9月9日の理事会に提出、10月の理事会での承認を経て全会員にアンケートを出して集約していく流れになっている。そこに事業継続力強化計画認定、社労士診断認証制度、BCPについての質問事項を加えて会員へのPRと金融庁、中企庁へこのような取組みを行っている報告を合わせて周知に繋げていこうと考えている。
- ・活力研の報告で、4月27日に金融庁と全国会長との意見交換会を行ったと伝えたが、今後定例化できそうである。意見交換会では各代協の会長が会議に参加するにあたって会員の生の声を一生懸命集めてくれた代協がいくつかあったので今後の開催においても同様にポイントを発表してもらえようしていきたい。
- ・実態調査は5年に一回だが、組織委員会と連携して周知徹底していきたい。

### 3. チャネル競争力強化策(リスクマネジメント講座)について

松本委員長より

- ・事業継続力、社労士診断そして RM 講座と去年何もできなかった分今年は盛り沢山となり手間をかけてしまうが RM 講座は今年度中にスタートさせたいと思っているので協力願いたい。
- ・繰り返しになるが、企画環境委員会及び中小企業庁のアンケートからもリスクマネジメント研修は必要性は高いが勉強する機会がないという事なので日本代協から提供を行っていきたい。保険会社も様々なツール等は作成しているが、研修などは殆ど行っていないと思われる。
- ・保険代理店としての提案品質を高めるためにも、これから代理店経営を行っていく上でも RM の視点は必要不可欠であり、それが差別化要素になっていくと思われるのでリスクマネジメントは推進していかなければならないと考えている。
- ・目標に関しては、全会員に対して無償で提供するセミナーを考えているので少なくとも 30%は受講していただき、必要性の認識を持って頂くことが目安と思っている。そして、資格講座の作成・運営をスケジュール通りに行っていきたい。将来的には資格取得者の目標数を設定していく。
- ・タスクフォース形式で立ち上げ企画環境委員会で推進していく。TF は 8/11 に第一回、8/26 に第二回を開催し、9 月 9 日の理事会で内容の承認を得て推進していく予定である。
- ・10 月から YouTube に動機づけ動画を配信し、11 月に保険 RM セミナーを日本代協理事、各代協役員、全国の企画環境委員を対象に開催、12 月末まで全国の会員向けにセミナー申込みを受付、視聴 URL を配信していく予定。セミナー申込み時にアンケートにてリスクマネジメントの取組み状況を把握していく。また、1 月以降は日本代協アカデミーにて資格講座を順次開講(有料講座)していく。この資格講座は外部の RM 資格を使うが代協特別価格で提供してもらう予定である。また、各都道府県代協から要望があればセミナー開催も検討する。
- ・教材は「業種別リスクマネジメント」(新日本保険新聞社)を保険 RM セミナーの補完資料とし、資格講座については「NPO 法人日本リスクマネージャー & コンサルタント協会」の 5 つの講座を活用し、法人保険マスター資格を付与する(アバターを用いた講座にするために費用が必要となる)。
- ・取組み開始後の課題としては、必要性認識から学び、実践へといかに結び付けていけるか? その工夫を長い時間軸の中でどのように行っていくかだと考えている。

その後、8 月 26 日開催予定の RM 講座 TF 資料(企画案)の説明があった。

(主な意見・質問)

- ・やることが一杯あって難しいというのが本心で、リアルで会議を開催できない中、熱を伝えるのが難しいし、事業継続力・社労士診断の後に RM 講座がすんなり会員に入っていけるか不安である。

事業継続力強化計画と社労士診断認証は時間を掛けてやるものではなく 2~3 年で一定の数字を作っていかなければならないと思っているが、RM 講座については今年度だけの取組みだけではなく次年度以降につなげるために今年度中に立ち上げたいという考えである。

- ・導入ステップで講座を受講せずにいきなり資格取得を受けてもいいものなのか。

代協アカデミーの中での映像を見ないと(受講後)試験を受けられないとする建付けを考えている。また日本代協アカデミーを経由しないで直接受講することも可能であるが、費用面で大きく違うのでこれから受講する会員は、日本アカデミーに登録後受講していただきたい。

- ・資格講座の対象は

経営者のみならず、その代理店に所属する募集人に対象に実施する。従業員(営業)が資格を取る事が重要だと思う。

#### 4. その他

- ・他委員会では全国の委員にオリエンテーションを行っているが、企画環境委員会では事業継続力、社労士診断、保険 RM のセミナーを開催・推進していくため、これらに参加していただければ方針は十分伝わると考えているので、みなさんから各ブロック・支部の委員に参加を呼び掛けて欲しい。
- ・「代協活動の現状と課題」について提供方法のアンケート(冊子・PDF)を取っていたが今年度も従来通り冊子での提供となった。皆さんにはサマライズ版の作成を依頼するので活用方法含めて、お願いしたい。

#### ・その他情報提供・閉会

##### 1. 情報提供

事務局より下記情報提供があった。

- ・半導体が減ってきており、トヨタが9月の生産目標台数を大きく下方修正していることはご存知の通り。某保険会社が半導体不足でドライブレコーダーを作れなくなっており新規ドラレコ特約の販売停止を発表している。また、火災保険の商品提供が厳しい状況になってくると思うので、ハザードマップについて誰でもお客さまに提供できるように CSR 委員会と連携していただきたい。

##### 2. 本日の到達点の確認

事務局より本日の決定事項の確認が行われた。

##### 3. 小田島副会長閉会挨拶

- ・本日はテーマを3つに絞って重要な取組みについての確認ができたと思う。両副委員長からも話があり強調されていたが、事業継続力強化計画、社労士診断認証の取組みについて皆さんから熱く語れるように、繰り返し多くの会員に伝えていただきたい。支援策がしっかりあることも安心しているので、併せて案内していただきたい。
- ・課題は認知度を上げていくことだとの話があったが、どんどんブロックおよび都道府県の仲間に力を借りて協力を得られるように考えて、抱え込まずに多くの人に声掛けをしていくことが大切な事だと思う。代協の委員会活動のいいところは、学んで繰り返し仲間に伝えることで何よりも自分の力が着くことである。勉強したことを自社の本業に活かす、松本委員長の話にもあったが今回の取組みは、代理店としての成長・挑戦こういったところに繋がっていくような位置付けになっているので頑張っていたいただきたい。お疲れ様でした。

以上

次回開催日 2021年9月27日(月) 13:00~17:00 WEB開催